

## 5. 県政に関する意見（問 29、報告書 p.138～146）

### 【結果概要】

#### ①担当課

知事公室 広報課

#### ②調査目的

選択式質問においては、あらかじめ想定された選択肢に沿った回答が求められるため、県民意見の全体像を把握するのは困難である。このようなことから、広く県政に関する意見を聴取するために、自由記述による質問を実施し、テキストマイニング（自然言語処理）により、全体意見の要約と可視化、回答者属性による傾向の把握などを行う。

#### ③調査結果の分析・考察

- 県政に関する意見として得られた自由記述回答は、テキストマイニングにより集計および可視化分析を行う。テキストマイニングは、文章をまずキーワードに分割し（形態素解析）、分割したキーワードの出現頻度およびキーワード間の関係性を集計し、各種統計手法および機械学習手法により可視化、分析することを基本とする。本調査では、回答者全体的な話題の要約および可視化のために共起ネットワークグラフを用い、性別や年代、居住地などの回答者属性別の傾向の分析に対応分析を用いる。
- 共起ネットワークグラフは、一つの文章内で同時に出現（共起）するキーワード間に何らかの関連性があると仮定して集計し、出現頻度が上位のキーワード（点）と関連性（線）から成るネットワークグラフとして可視化したものである。共起ネットワークグラフは、数理的な手法により内部の密接につながる密度の高いキーワード構造を特定することが可能であり、これら内部のサブ構造は特定の話題を要約したものに对应すると考えることができる。また、共起ネットワークグラフで特定可能な話題は、出現頻度が上位のキーワードから構成されている主要な話題が中心であり、比較的出現頻度が低いキーワードから構成されている話題は特定が困難な点については注意が必要である。
- 対応分析は、回答者属性別（性別、年代、職業など）に、出現キーワードの特徴を2次元空間に表示したものであり、属性とキーワードが近い位置にプロットされるものは、その属性に特徴的に出現するキーワードであると考えられる。また、対応分析では、基本的には横軸（第1軸）と縦軸（第2軸）の2次元空間上に関係性をプロットするが、全体の位置関係の特徴（慣性）がどの程度説明されているかは、成分（%）によって表されている。この成分（%）が低いと、得られた2次元空間上のグラフでは、特徴が説明しきれない可能性が高く、表示されている位置関係が偶発的に生じている可能性が高い点については注意が必要である。
- 共起ネットワークグラフによる可視化の結果、全体で8つの話題を特定することができた。その中で特定された話題のサブ構造を構成するキーワード数やその出現頻度を表す円の大きさより、「琵琶湖などの滋賀県の魅力の情報発信と観光対策」および「高齢化社会と地域の移動手段としての公共交通対策」、「子育て環境に関する支援や学校教育、医療の充実」、「豊かな自然環境や災害が少ない住環境の良さ」、「京都や大阪との関係性や通勤通学などの移動」、「渋滞対策や自転車専用道路などの道路整備」についてが、県民が比較的高い関心を持つ県政話題であると考えられる。また、サブ構造を構成しているキーワード間の関係構造より、最も大きな話題を構成していたのは「琵琶湖などの滋賀県の魅力の情報発信と観光対策に関する話題」であり、滋賀県の琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境に関する情報発信やこれらを活用した観光対策などについて、大きな関心事であると考えられる。
- 対応分析の結果、問1の性別では、「女性」は子育てや教育、自然環境と住環境についての

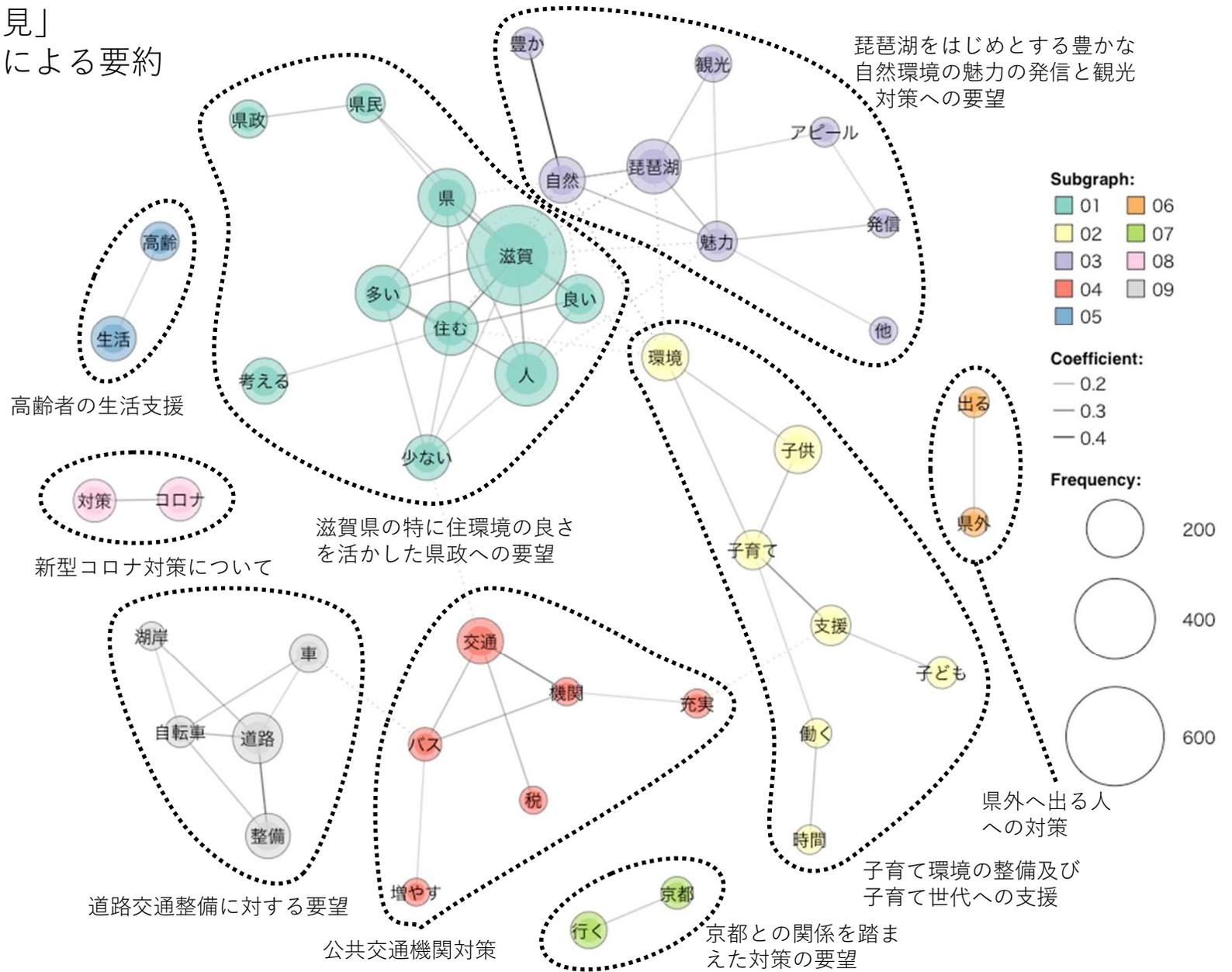
豊かさ、医療などの暮らしに関連した話題、「男性」は道路渋滞や公共交通、公共施設整備などの政策的な話題が中心で、ジェンダーバランスの偏りが見られる。

- 問2の年代では、第1軸上で18歳以上から49歳以下までのグループと50歳以上グループに分けられており、ライフステージの違いによる問題関心の傾向が表れていると考えられる。第1軸右側では、「65-74歳」と「75歳以上」のグループが隣接しており、高齢者対策および県政全般に関する話題が特徴的であった。第1軸左側では、「20-34歳」グループは、子育てや働く環境、仕事、教育などについての話題が中心で、「35-49歳」のグループは、住環境や医療、各種生活支援に関する話題が特徴的であった。
- 問3の地域別は、第1軸右側で「大津」地域と「湖南」地域、「東近江」地域が隣接して位置し、渋滞や自転車、バスなどの公共交通や滋賀の魅力の発信、観光などに関する話題が特徴的であった。また、「湖東」地域と「甲賀」地域も隣接しており、公共交通機関や公共施設の整備などに関する話題が特徴的であった。「湖西」地域と「湖北」地域はそれぞれ独立して位置しており、「湖西」地域は高齢化や子育てに対する話題、「湖北」地域は働く場所や医療、生活に関連した話題が特徴的であった。
- 問4の職業別は、「自営業・自由業」と「家事専業」、「その他の職業」が隣接しており、琵琶湖を中心とした自然環境や医療、教育に関する話題が特徴的であった。「常勤」職は、道路渋滞の改善や仕事、労働環境に関する話題が特徴的であり、職業により社会的課題が異なることが表れていると考えられる。
- 問5の居住履歴は、「生まれてからずっと滋賀県に住んでいる」グループは、医療や働く場所、各種生活支援に関する話題が特徴的であった。「滋賀県で生まれて県外に転出後、再び転入した」グループは、大阪や京都などとの関係性や滋賀の各地域における生活に関する話題が特徴的で、「県外で生まれて滋賀県に転入した」グループは、道路渋滞や自転車、バスなどの公共交通に関する話題が特徴的であり、居住歴の違いによる他地域との生活経験の比較により、関心となる話題が異なると考えられる。
- 問6の今後の滋賀への居留意向では、第1軸左側に「住みつづけたいと思わない」と「どちらとも言えない」グループが位置し、右側に「滋賀に住み続けたいと思う」グループが位置しており、今後の居住の意向により関心を持つ話題が異なっていると考えられる。「滋賀に住み続けたいと思う」グループは、琵琶湖などの自然環境の魅力や情報発信、教育、医療、災害などに関する話題が特徴的であった。「滋賀に住みつづけたいと思わない」と「どちらとも言えない」グループは、道路渋滞やバスなどの公共交通についての不便さ、公共施設などの整備や改善などの課題に関する話題が特徴的であった。
- 問7の滋賀に誇りを持っているかでは、「持っている」と回答したグループは、琵琶湖や自然環境、歴史などについての情報発信やアピールに関する話題が特徴的であった。「あまり持っていない」と「どちらかというも持っている」グループは、道路渋滞や公共交通、施設整備、医療などの話題が特徴的であった。
- 問8の県政に関心をもっているかでは、「関心がある」グループは、琵琶湖などの自然や歴史などの滋賀の魅力の発信、教育支援などに関する話題が特徴的であった。「まあまあ関心がある」グループは、住環境やバスなどの公共交通、大阪や京都へのアクセスなどに関する話題が特徴的で、「あまり関心がない」は、自転車や道路整備などの改善に関する話題が特徴的であり、県政への関心の度合いにより、関心となる話題も異なると考えられる。

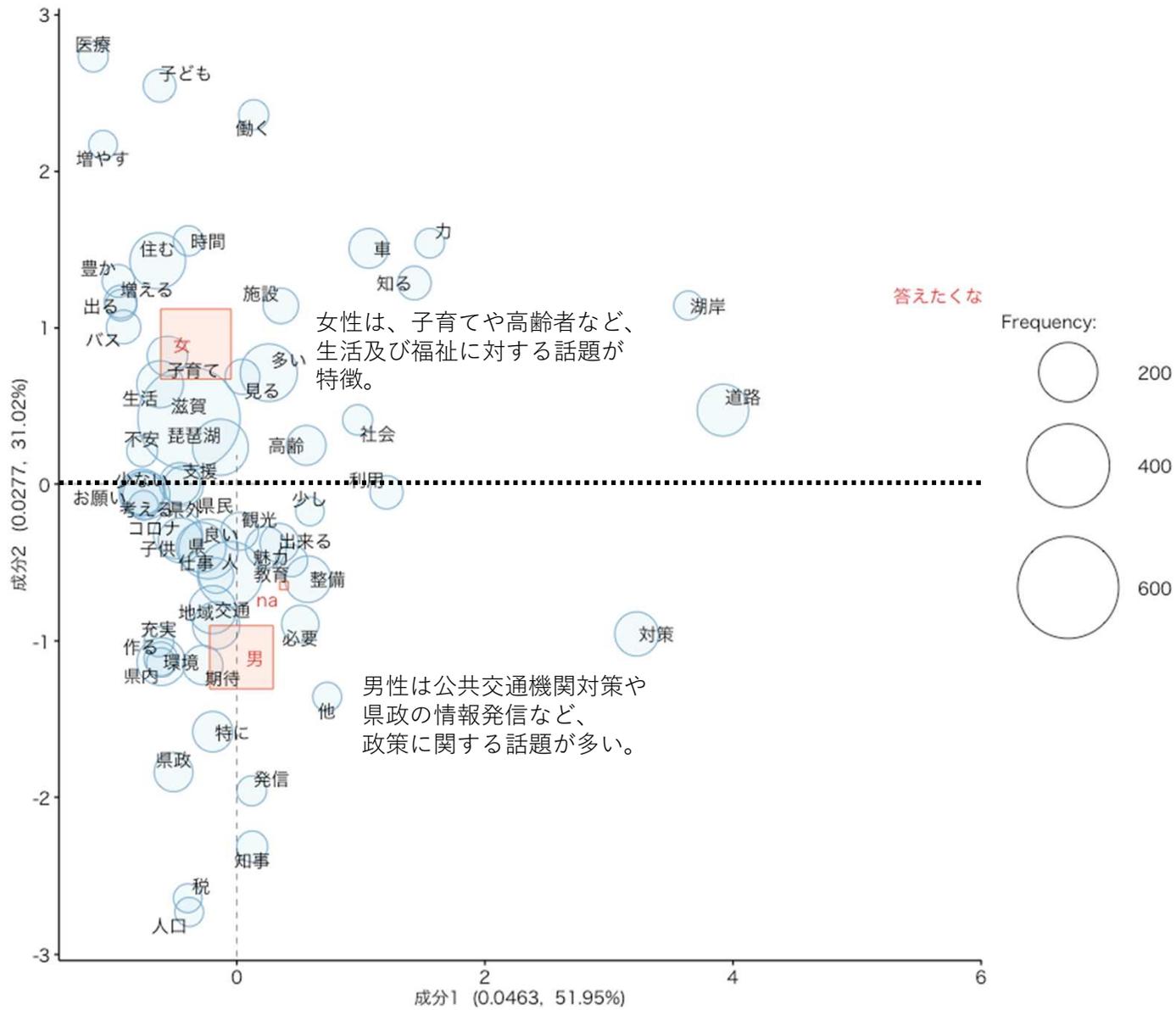
#### ④今後の施策への反映

可視化分析の結果を関係所属と共有し、今後の政策形成に参照・活用する。

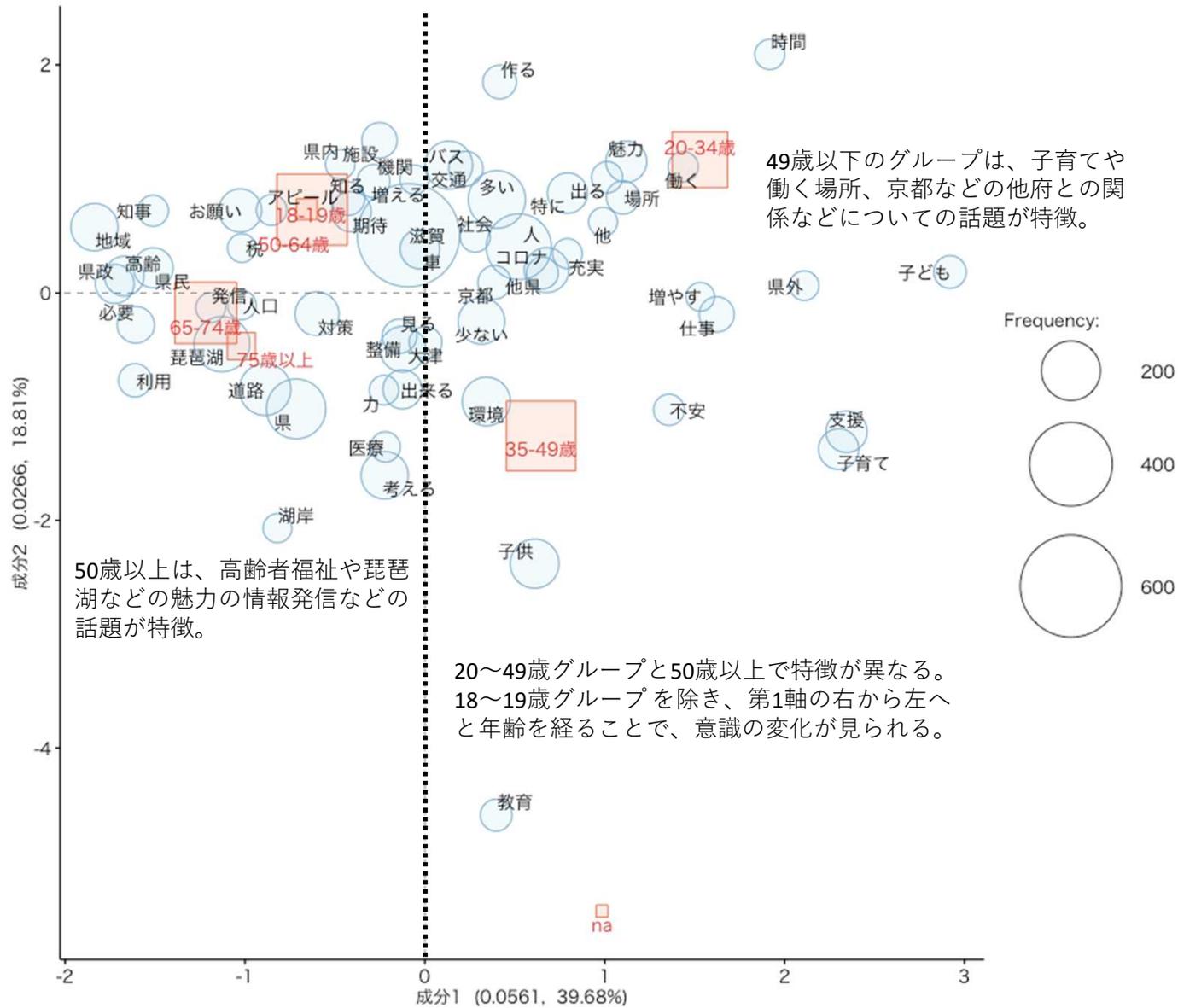
問30「県政についての意見」  
共起ネットワークグラフによる要約



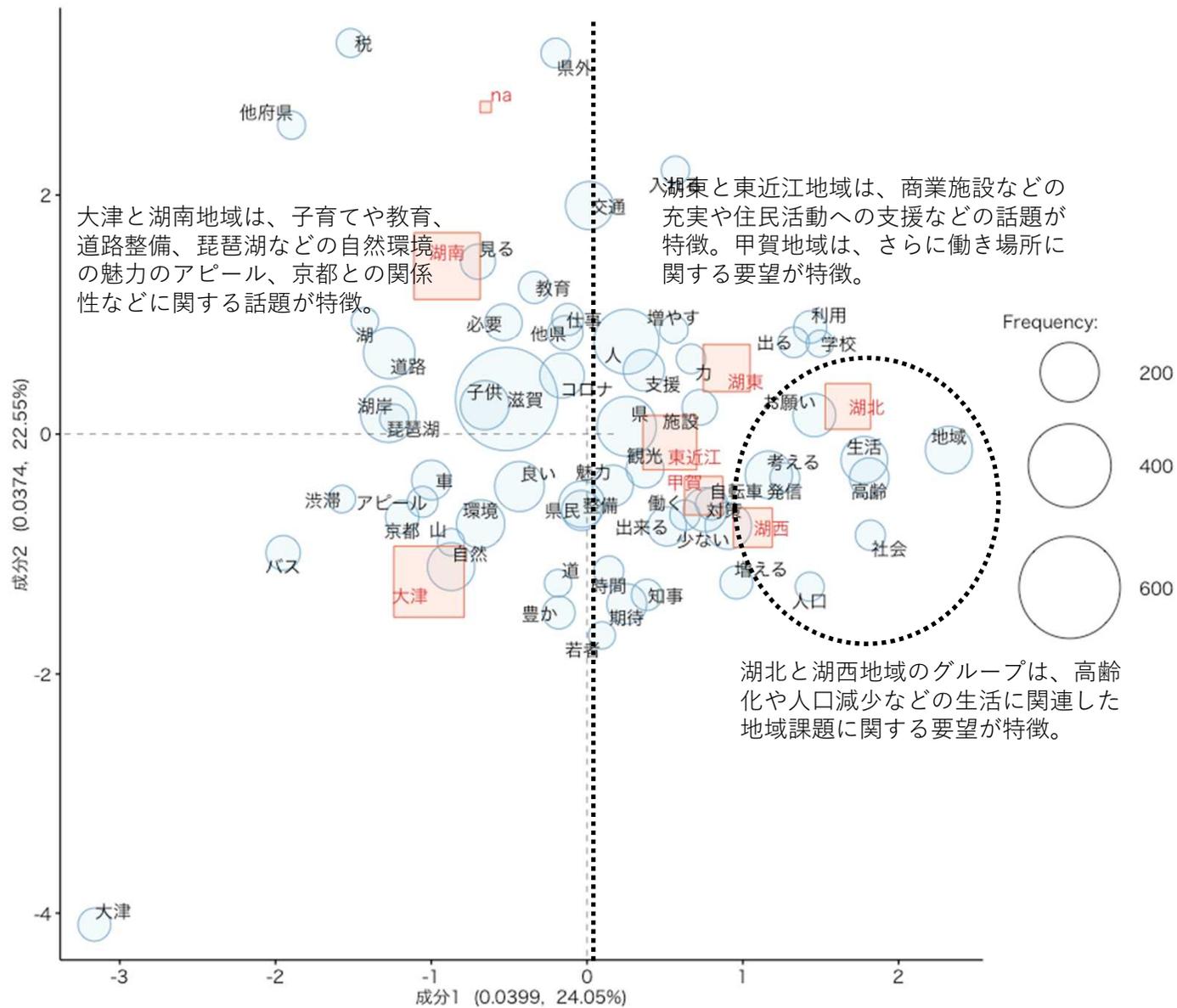
# 問1「性別」と問30「県政についての意見」 共起ネットワークグラフによる要約



## 問2「年齢」と問30「県政についての意見」共起ネットワークグラフによる要約

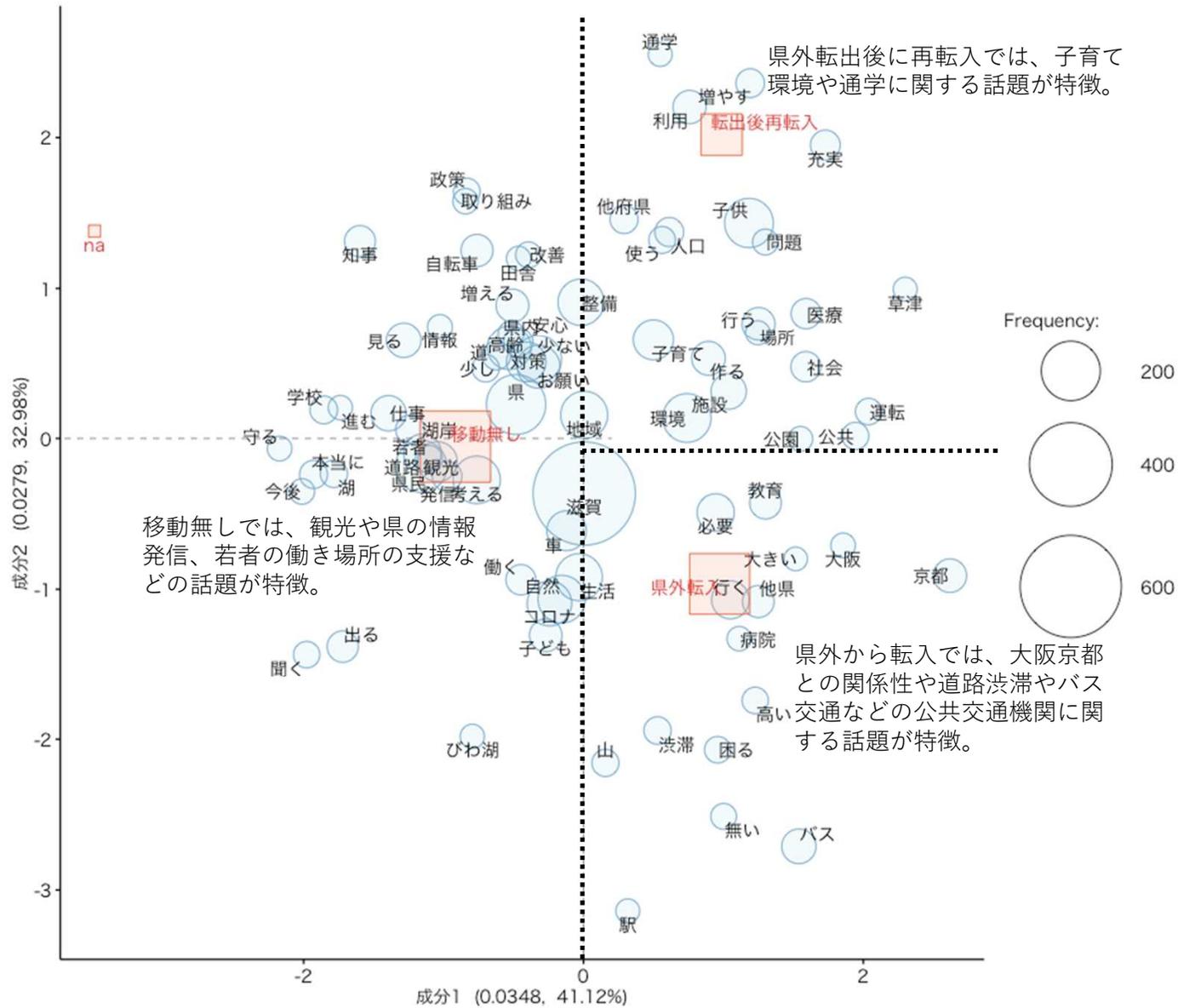


### 問3「地域」と問30「県政についての意見」共起ネットワークグラフによる要約



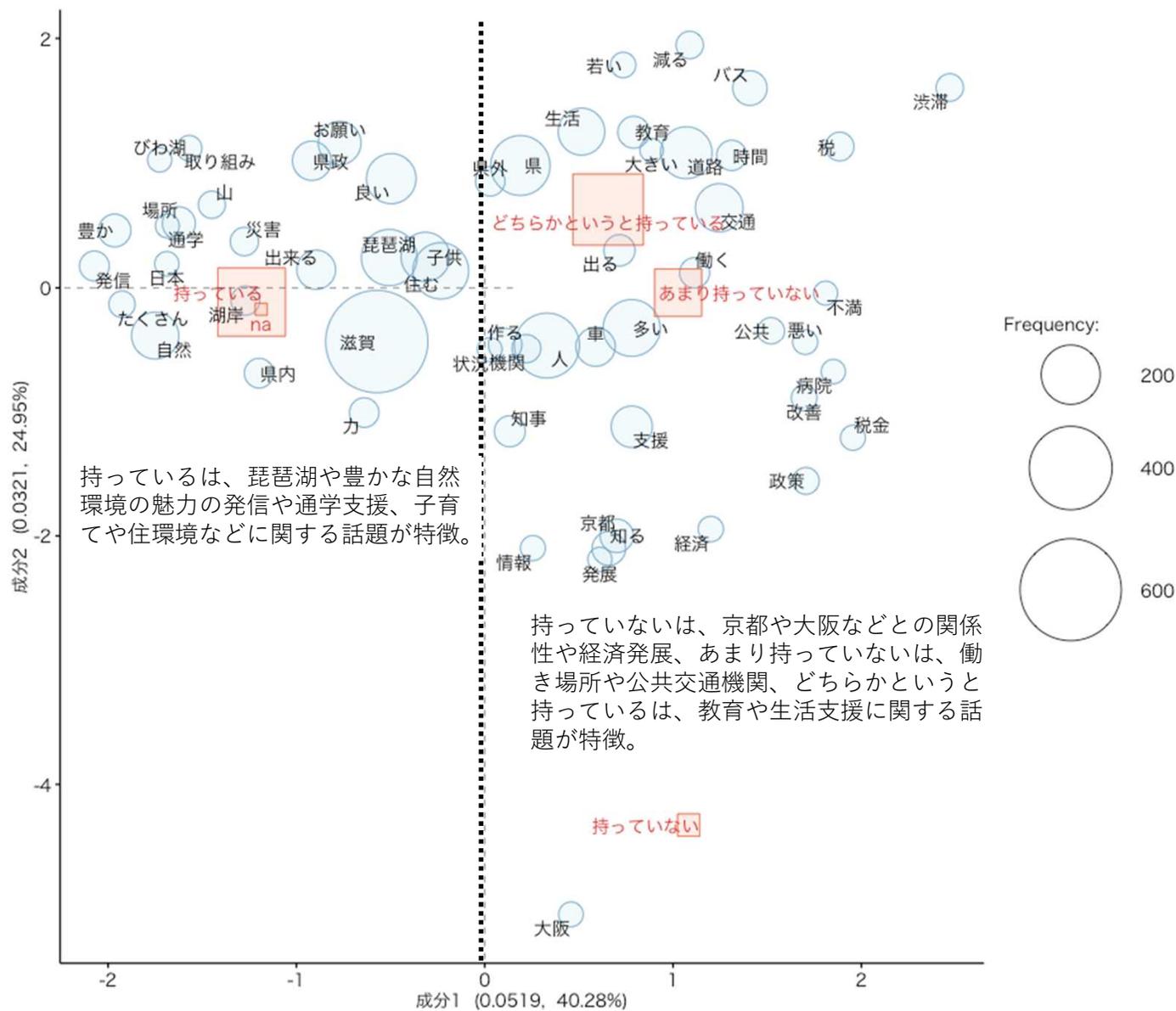


# 問5「居住履歴」と問30「県政についての意見」 共起ネットワークグラフによる要約





# 問7「誇りを持っているか」と問30「県政についての意見」共起ネットワークグラフによる要約



# 問8「県政への関心」と問30「県政についての意見」共起ネットワークグラフによる要約

